



# 一般質問

## 市民の声を市政に

(文責は、各質問者)

### 一般質問に27人が登壇

故土屋前知事、三枝前市長、人間国宝の増村氏を名誉市民に推挙を提案するについて



大山 利夫 議員

当市の限りない発展のため、ご尽力をいただいた、故土屋義彦前知事と三枝安茂前市長及び人間国宝の増村紀一郎氏の3氏は、春日部市の発展、社会、文化の進展に絶大な功績があり、当市の宝ともいふべき方々であると思います。

以上のことから、名誉市民に推挙し、その功績を市民にぞつてたたえるべきものと考えていますが、市長は、名誉市民に推挙するお考えはあるのか伺います。

○市長  
3氏については、名誉市民の授与基準に十分該当され、市の発展、社会、文化の進展に顕著な功績を残された、また残されている方々で、感謝するとともに敬意を表するところです。

名誉市民については、市民の総意が必要であると考えており、市民、議会からの機運の盛り上がりを待ちたいと考

えています。

このほか

○ワンルームマンションの規制強化について

○「生活環境確保条例」の制定について

○「ごみ収集作業員が認知症サポーターになる」事業を提案するについて

○お役所言葉の改善について

○匿名でも可能な「市民意見提出手続制度」について

○市のホームページに「子どもの救急」サイトの掲載を提案するについて

○「赤ちゃんの駅」を再度提案するについて

### 人間ドックと特定健康診査について



武 幹也 議員

前回9月定例会で、人間ドック助成制度再開の質問を行い、検討するとの答弁をいただきました。また、新たに創設されました後期高齢者支援金の加算、減算、いわゆるペナルティシステムがスタートすることとなりました。人間ドックの助成制度の再

開見通しと特定健康診査無料化の実現の可能性について、部長、市長の考えを伺います。

○健康保険担当部長

本市の場合、各種がん検診と特定健康診査をあわせて受診することで、人間ドックと同程度の検診項目になるため廃止し、人間ドックの再開については、今年度から始まった特定健康診査の受診状況等を注視しながら検討します。

特定健康診査は、無料化にすることで普段かかっている医療機関で気軽に受診でき、受診率の向上になり、後期高齢者支援金の加算、減算に国が定める目標の達成につながると考えます。

○市長

人間ドックの再開については、特定健康診査の実施状況等を踏まえ検討し、特定健康診査の無料化については、国が定める目標を達成するため有効な方法として考えられるので、前向きに検討します。

このほか

○農業ヘルパー制度と農業支援センターについて

○春日部市立病院の現状と再整備について

○春日部中学校の運動場について

## 合併後の職員の 給与格差の是正は



小島 文男  
議員

合併後の職員の給与格差が、給与規定の中から生じたというのですが、昇給停止がいつになつたら同じになるのか。また、新規採用の職員は減っています。過去3年で300人も退職して、新規採用は50人足らずの中で、果たして市民サービスが低下してないか伺います。また、給与格差は正と新規採用職員を増やすことについて市長に伺います。

### ○総務部長

合併時に新市の給与体系に統一するため、全職員を対象に給料の再計算を行い、基準より高い職員は昇給延伸、低い職員は昇給の短縮措置を行いました。この格差は約2年程度で解消される見込みです。

### ○総合政策部長

事務職員の新規採用は、平成21年度に向け現在17名で検討しています。新たに依願退職の発生や事務事業の業務量増大等もあり、市民サービス

への影響や職員への過重な負担に配慮し、採用数を若干増やしたいと考えています。

### ○市長

給与格差是正については、管理職についてはおおむね解消されたと認識しています。

また、市民サービスの向上に向け、特定部署の職員の負担が大きくなるようなよう、さらには民間企業経験者の採用を引き続き行うなど、今後もある適正な職員配置ができるよう努めていきます。

### このほか

○退職職員の再任用と新採用職員の充足状況は

## 一店逸品運動について



中川 朗  
議員

誰もがにぎやかな商店街や活気ある中心市街地を望んでいるはずですが。市ではこれまで商店街への補助、支援を行なってきましたが、どの程度の効果があったのでしょうか。市民がもっと市内で買い物をしたくなるようにするためには、まだまだPRや工夫が必

要と考えます。

市内には大変魅力的で、おいしい商品を扱っている店舗がたくさんあります。近隣市では、そうした店舗が集まり、協力連携し、それぞれ一押しの商品を一品だけ厳選してまとめた一店逸品カタログを作成しているそうです。つまり、優れた商品が満載の仮想名店街であり、吉川市では作成に

対し補助金を用意しています。従来の商店街への補助制度が一定の成果を上げていることは理解していますが、一店逸品カタログを仮想商店街と位置付けて、補助制度に新たに加えることはできないでしょうか。

### ○環境経済部長

一店逸品運動は、商店街の活性化に大変効果があるものと認識しています。平成19年度には庄和商工会で庄和地区版の一店逸品カタログを作成し、好評をいただいたと聞いています。市内経済の活性化のため、商店会や商工団体と十分協議してまいります。

### このほか

○専門職員の配置について  
○いつまでも元気で暮らしていくための介護予防の取り組みについて

## 期待 大きい 市立病院について



秋山 文和  
議員

事業管理者を支える仕組みづくりについてですが、全適により事業管理者には、院長のときよりも大きな権限が与えられると同時に、責任もまた大きいものになります。

病院運営責任者を病院長や副院長、事務部長などが支えるわけですが、内部ではない、外部から支える仕組みが必要なのではないか伺います。

また、小児科、産科の再開のめどについて、安心して産み育てられる春日部市とするためにも、産科、小児科再開は多くの市民の願いでありますが、その見通しについて伺います。

### ○病院事業管理者

事業管理者を補佐するシステムの構築は、経営改善を進めるに当たり、経営について客観的かつ専門的、さらに民間的な観点から評価、あるいは助言を求める組織がぜひとも必要だと考えています。

具体的には、現在約5、6名の公認会計士、大学教授、企業経営経験者、民間病院の経営責任者等々の方々が構成員とした経営管理アドバイザーを設置したいと考えています。

また、小児科、産科の再開ですが、事業管理者の最大の責務だと考え、努力をしています。先が少し見えてはきては至っていない状況です。6月議会でお示しさせていた

### このほか

○いわゆる行革について



市立病院 (クリスマス会)

## 古利根川を生かした まちづくりについて



岩谷 一弘  
議員

中心市街地古利根川エリアのまちづくりについて、以下質問します。

- ① 当市整備計画構想について
- ② 県政策との整合性について
- ③ 民間の参画について
- ④ 河川内の整備費用について

○ **鉄道高架担当部長**  
総合振興計画など古利根川沿いのプロムナード整備が位置付けられ、中心市街地活性化の観点から、公園橋周辺は、にぎわいづくりに向け重点的な整備を行う必要があります。県では、川の国埼玉の実現を目指し、県内100カ所程度で川の再生事業を行っており、当市は、来年度に向けて立候補したところです。河川内整備は、県にお願いし、河川沿いの整備などは、市で進めていきたいと考えています。この場合、河川区域内は、県整備となり、市の負担はありません。民間のアクションについては、春日部商工会議所



の地域資源委員会が中心となって、古利根川の再生と周辺まちづくりについて、市へ提言したいと聞いています。市としても、まちづくりモデル支援事業として補助を行い、勉強会にもオブザーバーで参加し、官民協働して中心市街地の活性化を図っていきます。

○ **市長**  
古利根川の再生と周辺地域のまちづくりを中心市街地の起爆剤ととらえ、商都復活に向けて積極的に取り組みます。  
このほか  
○ 新たな窓口サービス構築について

## 市道2-1号線と 1-3号線の整備について



石川 勝也  
議員

武里内牧線と並行する2-1号線は、彩光苑前やアスレチック公園入り口付近では側溝が整備されたものの、危険な箇所もまだあります。早急に整備していただきたいと思いますが、国からの補助等は得られないのでしょうか。

また、旧春日部菖蒲県道から内牧四方谷地区をとり梅田本町を結ぶ市道1-3号線は、平成15年に関係地権者のご理解、ご協力により農業振興地内の道路が拡幅され通勤通学がたいへん便利になりましたが、側溝の改修整備や中だるみの解消などについてお尋ねします。  
○ **建設部長**  
市道2-1号線は平成13年度から順次整備し、今年度末には、側溝改修済みが約1010メートル、約38%の進捗率となる予定です。今後も危険箇所や整備効果の高い部分を重点的に進めてまいります。

なお、側溝改修は維持修繕扱いとなり国や県の補助金事業の対象とはなりません。  
市道1-3号線については、側溝清掃を実施しつつ、中だるみ箇所の改修について検討してまいります。

また、農業振興地内の部分については、住宅地でないことや車のすれ違いに支障がないことから、側溝改修及び道路拡幅は難しいと考えます。

このほか  
○ 北春日部駅周辺か内牧地区に交番の設置を  
○ 不耕作地の管理と水田の保全について

## 路線バス、コミュニティ バスの拡充を



松本 浩一  
議員

豊野方面の路線バスの運行が始まって4年目になっています。しかし、この路線バスは豊野町までしか運行されず、赤沼地区の皆さんは延伸を強く要望しています。延伸を断すべき時期にきていると思いますかどうですか。今年2月から始まったコミ

ュニティバスも10カ月が経過し、さまざまな要望が出ていると思います。小淵・島自治会地区から、ぜひ運行してほしいという強い要望があります。

また、両替機の設置と体の不自由な人や高齢者が自由に乗り降りできるノンステップバスの導入が必要だと思いますか。

○ **都市整備部長**  
豊野方面路線バスの利用者は着実に増加しています。運行事業者も赤沼地区への運行を課題としています。豊野地区の利用者も少しずつ増えていますので、延伸が実現できるように働きかけていきます。また、コミュニティバスの運行は、第二次計画で見直しを予定していますので、路線や車両などについて調査検討をしていきます。

○ **市長**  
豊野方面路線バスの延伸ができるよう事業者に働きかけていきます。  
このほか  
○ 営業と暮らしを守るために、中小企業融資制度の拡充と迅速な対応を  
○ 利用者の声を聞き、誰もが利用できる公民館に

### 新市のグランドデザインと 公共施設の配置見直しについて



会田 幸一  
議員

本年、市政運営の指針となる総合振興計画がスタートしました。これに伴い、都市整備の基本的な方針を示す都市計画マスタープランの策定を強く求めます。

また、無秩序な開発行為の規制や総合的なまちづくりを誘導する方策として、開発指導要綱を条例化し実効性を高めることも必要と考えます。

最後に、災害時の避難場所にも指定されている公共施設は、老朽化が大変深刻な状況です。施設改修や維持補修についてお聞きします。

#### ○都市整備部長

都市計画マスタープランは、市民ニーズを把握しながら、合併によるスケールメリットを生かした魅力ある個性的なまちづくりのため、平成21年度から2カ年で策定を進めてまいります。

開発指導要綱の条例化については、市民や事業者に一定

の制限の義務付けも想定されるため、都市計画マスタープランとの整合を図るとともに、市民意見を聞きながら条例制定に取り組んでまいります。

#### ○総合政策部長

公共施設については、今後建て替えや大規模修繕が必要なもの、建築物の耐震化計画を作成しているものなどがあります。公共施設の統廃合も含めて市民サービスの向上のために、維持改修に当たつての計画をまとめてまいります。

#### このほか

#### ○融資について

#### ○道路の安全対策について

### 上野 長 宮 線 延長推進について



山口 保  
議員

平成19年6月議会で質問して以降、1年半が経過しましたが、事業推進に向けての計画は何一つ示されていません。今後の整備計画を伺います。

また、増戸地区は総合振興計画では、まちづくりエリアに指定されています。今後策定する都市計画マスタープラ

ンに上野長宮線の延長推進を取り入れていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

#### ○建設部長

本路線は旧岩槻市の都市計画道路であり、また、県が事業主体として進めてきた経緯があるため、県で整備することが望ましいと考えています。なお、県には予算編成時に、早期着工を要望しています。

#### ○総合政策部長

市内には上野長宮線も含めて、未整備の都市計画道路が約36kmあります。今後の道路整備については十分協議する必要があるため、上野長宮線の整備には相当の時間がかかるものと考えています。

#### ○都市整備部長

都市計画マスタープランでの位置付けは、地域の皆様の意見、要望や周辺の土地利用状況等を考慮してまいります。

#### ○市長

市域を超える幹線道路であるため、従来からの経緯を踏まえ、県をはじめ関係機関へ粘り強く要望してまいります。

#### このほか

○南中曾根、市道2-30号線の交差点信号設置について

○(仮称)庄和図書館の管理運営について

### 児童、生徒及び高齢者の 交通安全教室等について



富樫 清年  
議員

本年6月から道路交通法の一部が改正され自転車に関するルールが改められました。自転車は子どもから大人まで自由に乗り、加害者にも被害者にもなり得ます。特に子どもが自転車に乗る際は、ヘルメットの着用が努力義務となり、他自治体では補助を行っています。大切な子どもを守るため着用の徹底を願うとともに、助成制度の導入について市の考えを伺います。

また、最近増えつつある高齢者等のシニアカーは免許もなく乗れますが、メーカーによっては前照灯もなく、非常に危険な状態です。ぜひ、運転教室などを開催していただきたいと思えます。

#### ○市民部長

自転車の交通ルールについては、小学校3年生以上の児童を対象に実施しています。道路交通法改正後には、歩行者を優先することや自転車用

ヘルメットの着用などの説明を加えています。なお、ヘルメットの助成については、他の市の取り組み状況を参考に研究してまいります。

また、高齢者には自治会などからの要望による交通安全教室を実施していますが、シニアカーについては現在取り組んでいません。関係部署と連携し、情報提供と啓発に努めてまいります。

#### このほか

○春日部駅東口、西口への駅構内無料通過について

○合併3年後の市民意見、要望等の達成状況



交通安全教室

## 自立支援法で苦しむ 障がい者への支援は



村松 君子  
議員

自立支援法が施行されて2年半が経過しました。原則1割の「応益負担」が多く、障がい者や家族、事業者を苦しめています。市の入所施設がないために、グループホームや重度者が入るケアホームが民間で設置されています。この運営は大変困難をきわめており、他市が実施している家賃補助を求めます。

非正規雇用や派遣労働など、健常者であっても就労は困難な現実があります。障がいを持つ人の就労確保は、市として特別な対策が必要です。障がい者就労支援センターでの状況（19年度Ⅱ登録者数59人、就労数11人、20年度Ⅱ登録者数80人、就労数11人）を見ても不十分です。市役所内や関連事業所などでの障がい者の働く場の確保を求めます。

また、就職後の権利擁護や生活の全面的なサポートをする「生活支援センター」の設

置を提案します。

災害時、ひとり暮らしの障がい者の安否確認などの把握は、相談事業所（現在3カ所）に機能強化の支援を行い、進めるよう提案します。

### 福祉健康部長

「応益負担」については、障がい者にとって負担となっていることは認識しています。

また、障がい者の実態把握調査については、個人情報に関するハードルがありますが、早急に進めてまいります。

### このほか

○介護保険を安心できるものにするために

## 市立病院について



蛭間 靖造  
議員

東京都の墨東病院で起こった事例等、妊婦の救急搬送をめぐる問題が日本国中を駆けめぐっています。最も尊重されなければならぬ人の命が最優先されていないという矛盾した現実を見て、大変ショックを受けました。

新しい命を取り上げる現場

でも戦慄を覚えるような惨状が放置されているのではないのでしょうか。誰もが豊かで安心・安全なお産を望みながらかなえられない、かなえてあげられない現実が広がっているのではないのでしょうか。

そこで、救急搬送の現状、及び市立病院の救急受け入れに対する考え方を伺います。

### 消防長

平成20年10月末までの救急搬送人員は、6396人であり、そのうち産科・周産期は50人です。

### 病院事務部長

市立病院では、2次救急医療機関として、24時間体制で可能な限り患者ニーズに応えられるよう努めています。

また、政策医療として市立病院の使命を果たす上から、より多くの救急患者の受け入れが求められていると受けとめています。今後とも市民の負託に応えられるよう、関係機関等と十分連携を図り、救急のあり方を含め、救急医療体制の充実に努めていきたいと考えています。

### このほか

○公衆トイレの非常装置について

○まちづくりについて

## 救急車の搬送時間の短縮について



栗原 信司  
議員

いわゆる救急患者のタイムリシ事件が頻発しています。

急な病に倒れて、消防署に連絡をして救急車が現場に駆け付けるまでの平均時間は、全国平均において、平成8年度ではおよそ6分だったものが、10年後の平成18年度では約6・6分と時間が延びています。

春日部市においてはいかがでしょうか。

そしてさらに、119番通報を受けてから病院へ収容するまでの平均時間はどのくらいでしょうか。

春日部市における現状と時間短縮への取り組みについてお伺いします。

### 消防長

消防本部では、現在2署6分署に高規格救急車を配置し、市民からの救急要請に対応しています。

平成19年中の救急搬送等の現状についてですが、119



救急自動車

番通報を受けてから現場に到着するまでは、平均5分30秒です。通報を受けてから医療機関に収容するまでに要した時間は、平均41分です。

消防本部では救急活動における時間短縮のため、消防隊と連携した救急支援活動を実施しています。今後についても、より一層、消防隊との連携強化を図り、搬送時間の短縮に努めてまいります。

### このほか

○障がい者向け配食サービスの実施について

○女性総合外来の設置について